

<楽曲への興味・関心が高まり、表現を工夫>

音楽科・中学校2年・情景を思い浮かべながら、言葉を大切にして歌おう（歌唱「夏の思い出」）
ねらい：情景を思い浮かべ、曲にふさわしい表現の工夫について考えを伝え合う。

期待される効果

プレゼンテーションで尾瀬の情景や歌詞、作詞者・作曲者について簡単に提示することで、前時に学習したことを視覚的に振り返り、短時間で共通のイメージをもつことができる。デジタル教科書の楽譜に直接考えを書き込んで交流することで、視覚的にも互いの工夫を把握しやすくなるため、自他の考えを比較し合い、曲によりふさわしい表現を探し出すことができる。



機能：書き込み、保存・表示



学習活動例

★学習者用デジタル教科書活用場面

	活動内容	活用ポイント／留意点	
導入	一斉 前時の振り返り 歌唱 課題の確認	1 前時の振り返り ・作詞者や作曲者、楽曲等について振り返る。 ・音程やリズムに気を付けて「夏の思い出」を歌う。 2 課題の確認	・尾瀬の情景や歌詞、作詞者や作曲者等、前時に学習したことを簡単に振り返り、目指すイメージを共有することができる、スライドを準備しておく。
	課題：尾瀬の情景が思い浮かぶよう、[A] の部分をどのように歌うか、表現を工夫しよう。	3 表現方法の交流 ★各自、どのように歌うかを考え、工夫を図等で楽譜に書き込む。 ★友達之乐譜を端末上で確認し、気になったものについて直接思いや考えを聞き、様々な表現方法に気付く。 ・友達が考えた表現方法をペアやグループで試唱し、曲にふさわしいか確かめる。 ・全員で選んだふさわしい表現方法を通して歌う。	・学習者用デジタル教科書を用い、各自、どのように歌うのか、工夫を楽譜に書き込む。 ・個々の端末で全員の楽譜を見ることができるようにし、確かめてみたい楽譜について試唱する。 ・発表者のスライドを大型モニタに投影し、よりふさわしい工夫について共有する。
展開	個別 ペア グループ 表現方法の交流と歌唱	4 振り返り ・曲にふさわしい表現の工夫について、自分の表現方法と比較して考えたことを中心にカードに記入する。	
まとめ	個別 振り返り		